学校番号	３２２

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツＶ	単位数	１単位	年次	２年次（体育科）
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然体験の活動を通して、自然を愛する心を育み、好ましい人間関係を構築しよう。
・変わりやすい天候での遠泳等の水辺活動において、臨機応変な行動がとれるようになろう。
・救急法に関する知識と技術を習得するとともに、事故防止と安全に対する行動がとれるようになろう。
・冬季の雪上への特性を踏まえ、目的に応じた用具を操作して、滑走ができようになろう。
・事前学習、活動後の振り返りをおこない、系統的、計画的に行動がとれるようになろう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
自然との関わりの深い野外活動/運動における自他や社会の課題を発見し、他者に伝える力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通してスポーツを継続するとともに、スポーツの推進/発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	交流会や宿泊体験及び競技会や記録への運営方法、初歩的な指導法や、健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関り方を身につけている。 多様な楽しさや喜びを深く味わうための運動技能及び仲間と学びあう際にわかりやすく表現する技能を身につけている。 健康・安全を確保する知識や、事故防止のマナーについて確実に習得する。	自然の中で活動する場面で、よりよいマナーや行為について自己の活動を振り返る。 映像や記録などの客観的なデーターから、動きの改善点や妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し仲間に伝えている。	多様性、共生などのスポーツを通した共生社会の実現に寄与する学習に意欲をもっている。 仲間と話し合う場面で合意形成に貢献しようとすることを示している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2〜3学期	救急法実習	水上安全法講習 ・水の事故防止 ・救助法 心肺蘇生法講習 ・心臓マッサージ ・AED 怪我に強い体つくり ・コンディショニング ・トレーニング テーピング講習 ・テーピング法 ・三角巾 スポーツと鍼灸 ・東洋医学 ・鍼灸	a:救命救急や怪我予防・事故防止に関する知識を身につける。 b:救命・救急に関する知識を活用して行動できる実践力を身につける。 c:自らすすんで救命・救急に関する知識を理解して確実に習得し、仲間と共に安全確保に取り組み、実践できるようにする。	・技能テスト ・技能観察 ・レポート	・実技テスト ・レポート	・受講態度の観察 ・振り返りシート
3学期	スキー実習	スキー講習 検定試験 ビデオ確認 スキー選手の講話	a:スキー用具・用語・技術の知識やゲレンデマナーなどの安全確保の方法を理解している。歩行、方向転換、登行、滑走などの滑降技能を身につけている。 b:　映像や記録などの客観的なデーターから、振り返りや自己分析し、自己の課題に応じた運動の取り組みに工夫して、技術向上につなげる。 c:　天候や雪質に応じてスピードをコントロールたり、安全に滑走する技術を仲間と協力して習得しようする。生涯にわたってスキーを豊かに実践できるように取り組む。	・技能テスト ・技能観察 ・レポート	・実技テスト ・レポート	・受講態度の観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度